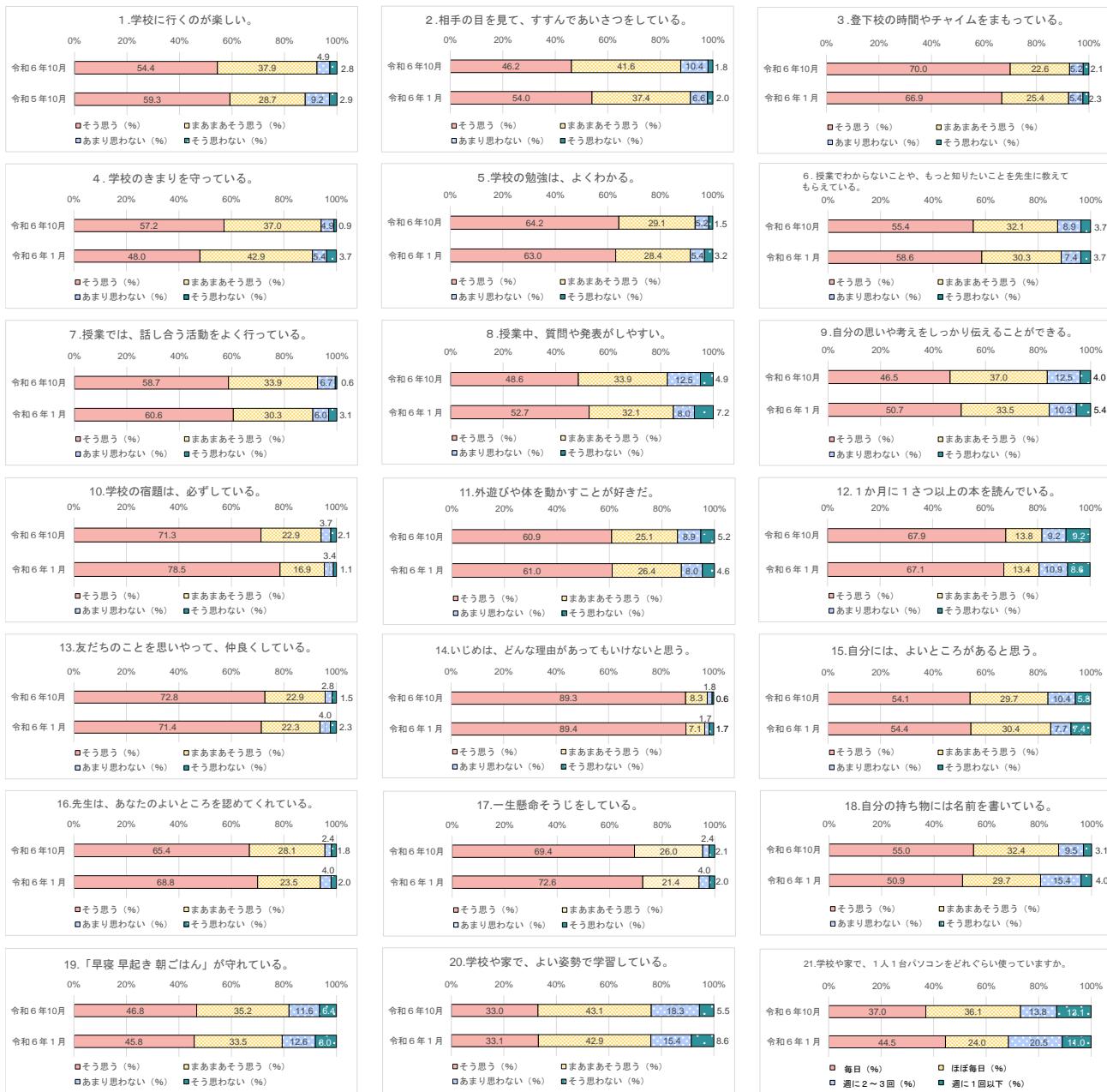


令和6年度「学校教育アンケート(児童用)中間」の集計結果について【全学年】

大阪市立焼野小学校

10月に実施した「学校生活アンケート(児童用)中間」の集計結果をお知らせします。調査結果は学校の活性化に役立てていくとともに、結果から見えてきたことを、今後の教育活動に生かしてまいります。(※回答総数は328人です。)



【分析と今後の取組み】

◆学習について

93.3%の子どもが「5.学校の勉強は、よくわかる」と感じており、昨年度より肯定的回答の伸びが見られました。また、「6.授業でわからないことや、もっと知りたいことを先生に教えてもらっている」「7.授業では、話し合う活動をよく行っている」「8.授業中、質問や発表がしやすい」「9.自分の思いや考えをしっかり伝えることができる」の項目では、いずれも80%以上の肯定的回答があり、特に、「7.授業では、話し合う活動をよく行っている」の項目では昨年度より上回っています。本校では、各教室に大型モニターを整備するなど、ICT機器のさらなる充実を図っています。今後も学習活動を工夫したり1人1台学習用端末等を活用したりするなど子どもにとって達成感や充実感を感じることができる授業づくりに日々取り組んでいきます。

◆生活について

「3.登下校の時間やチャイムをまもっている」「4.学校のきまりを守っている」については、「そう思う」の回答に昨年度よりのびが見られました。特に、「4.学校のきまりを守っている」では「そう思う」の回答が昨年度より9.2ポイント上回っており、子どもの規範意識の高まりがうかがえます。今後も生活目標の取組評価や生活指導上の課題について、全教職員で共通理解しながら子どもたちの指導にあたります。「18.自分の持ち物には名前を書いています」について、肯定的回答が昨年度より6.8ポイント上回っています。持ち物への記名は物を大切にすることにもつながります。保護者の皆さまのご協力に感謝いたします。「2.相手の目を見てすすんであいさつをしている」では、87.8%の子どもが肯定的に回答していますが、肯定的回答の割合は減少しており、今後もより多くの子どもが進んで気持ちはよいあいさつができるよう取組みを継続します。

◆友達関係について

95.7%の子どもが「13.友だちのことを思いやって仲良くしている」、97.6%の子どもが「14.いじめはどんな理由があってもいけないと思う」と回答しています。本校では「いじめについて考える日」を年間3回設定するなど、子どもや教職員の「いじめ防止」の意識を高めるよう取り組んでいます。今後も引き続き、いじめの未然防止に取り組むとともに、思いやりあふれる学校づくりを進めています。

◆学校生活全般について

92.3%の子どもが「1.学校に行くのが楽しい」と感じており、昨年度より肯定的回答の伸びが見られました。子どもたちが概ね落ち着いた学校生活を送っている様子がうかがえます。また、93.5%の子どもが「16.先生はあなたのよいところを認めてくれている」と感じ、83.8%の子どもが「15.自分にはよいところがあると思う」と感じています。今後とも、子どもたちの良さを伸ばし、一人一人に寄り添いながら、子どもの笑顔あふれる学校づくりに取り組んでまいります。本校の教育活動にさらなるお力添えをお願いいたします。